



高知の生協



地域と  
ともに  
協同の輪を





高知県生活協同組合連合会  
代表理事会長

宮本 正気

私たちの高知県生協連は、ここに創立50周年を迎えることが出来ました。

1959年に、5つの生協と15の労働組合が、働く者の経済的文化的向上をめざして生協連を創立しました。50年の歩みは、諸先輩方による語りつくすことの出来ない汗と涙の努力によるものです。これまで支え導いてくださいました関係各位の皆様にご挨拶申し上げます。

さて時代は、大きく動いています。一昨年、60年ぶりに生協法が改正され、ひきつづき、今年9月には、消費者庁が発足しました。しかし、私たちの暮らしをめぐる状況は大変厳しいものがあります。昨年秋に発生しました国際的金融危機と実質経済の急激な低下という深刻な経済状況が、全世界的に広がっています。日本でも消費者・事業者・生産者を問わず、暮らしの厳しさは、ますます増大しています。とりわけ高知県におきましては、少子高齢化進行とあいまって、地域間格差・産業間格差も広がっています。将来の経済の担い手になっていくはずの若年層の就業困難な事態も大きな問題になっています。

これまでの食の安全、平和、環境、福祉などの分野別課題を一層深めると同時に、地域を創る視点での運動を再構築する役割が、生協に求められています。

50周年記念事業実行委員会は、50周年のテーマを【新たにはじめる50年—地域とともに協同の輪を】に決め、記念事業の成功にむけ取り組んでまいりました。県生協連の50周年を機に、協同運動の原点—よりよき生活と平和のために—にもどり、記念誌を通じて、明日への展望のエネルギーを、くみだしていただくことを願ってやみません。

## 高知県生協連役員名簿 (2009年度)

代表理事会長	宮本 正気	こうち生協名誉理事長
副 会 長	彼末 明	高知医療生協副理事長
専務理事	西岡 雅行	こうち生協理事長
常務理事	泉 慎二	高知大学生協専務理事
常務理事	田村 豊	高知県学校生協専務理事
常務理事	山本 啓	高知県庁生協常勤理事
理 事	井垣 政利	高知県学校生協常務理事
理 事	片山 弘紀	ミロク生協専務理事
理 事	坂野 耕一	セイレイ高知生協専務理事
理 事	曾我 秀秋	高知県高齢者福祉生協専務理事
理 事	本間こぎと	高知医療生協専務理事
理 事	横山 和美	高知県労働者共済生協専務理事
理 事	吉岡 孝芳	生協コープ自然派こうち専務理事
監 事	下元 俊和	こうち生協常務理事
監 事	濱口 邦宏	高知医療生協理事
監 事	牧本多津男	高知県庁生協専務理事



高知県知事  
尾崎 正直

高知県生活協同組合連合会の創立50周年を、心からお喜び申し上げます。

高知県生活協同組合連合会は、昭和34年に設立されて以来半世紀にわたり、県内生協の連携の軸としての活動を通じて県民の生活文化の向上にご尽力いただいております。厚くお礼を申し上げます。

また、高度経済成長や環境問題など社会状況の変化を敏感にとらえつつ、地域に密着した組織力と実行力で、常に消費者の立場から取り組みを進められ、25万人を超える組合員を擁するまでになられたことに深く敬意を表します。

ここ数年、消費者の安全・安心に対する意識が高まっています。皆様方にはこれまで、食の安全や医療・福祉のサービス、災害時の支援など、多岐にわたってご活躍いただいております。その一つとして、平成10年12月には、生協連と高知県との間で「災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定書」を締結していただき、大変心強く感じているところでございます。

今後とも、「自立した市民の協同の力で人間らしい暮らしの創造と持続可能な社会の実現を」という生協の理念のもと、それぞれの生協の強みを生かして地域に根ざした活動に取り組み、消費者の想いが届く生協連として、ますますご活躍、ご発展されることをお祈りいたします。



日本生活協同組合連合会  
会長 山下 俊史

高知県生協連が創立50周年を迎えられるにあたり、全国の生協の仲間を代表して心よりお祝い申し上げます。

創立以来、県連と会員生協組合員、役職員の皆様が、よりよい暮らしの実現のため多大な努力と実績を積み重ねてこられましたことに深く敬意を表する次第でございます。

今日、世界は、百年に一度といわれる経済危機、地球温暖化、食料需給の不安定化、貧困・飢餓、テロ・平和などをめぐるグローバルな問題に直面しています。国内においても、経済状況が悪化するなかでの雇用や家計の問題、医療や福祉・教育に関わる問題、消費者被害、食の不安など、暮らしの危機がより切実なものとなっています。

折しも、今日の日本の生協の礎を築いた賀川豊彦が、神戸で救貧活動を始めてから百年を迎えました。今こそ、協同組合の立脚点である自助と連帯の価値に立ち、生協の21世紀理念「自立した市民の協同の力で人間らしい暮らしの創造と持続可能な社会の実現を」目指し、高知県生協連のみなさまをはじめ、全国の生協とともに危機に立ち向かいたいと考えます。

高知県生協連のみなさまが今後もさらにご活躍されますことを全国の生協とともにご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



高知県農業協同組合中央会  
会 長 山崎 實樹助

高知県生活協同組合連合会が創立50周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

貴会は長年消費者の暮らしの課題に取り組み、中でも国民の関心が極めて高い「食の安全」については、全国の生協連とともに、署名運動に取り組み、2003年には食品安全基本法の制定や食品衛生法の改正を実現されるなど数々の実績をつまれています。

我々JAグループも、世界的な食料需給逼迫の中で、日本が食料の60%を輸入に頼っている現状を踏まえ、将来の日本人の「食」のあり方について、消費者の皆様とともに考えていくため、「みんなのよい食プロジェクト」運動を展開しています。

また、農畜産物を提供する側として、安全対策の徹底を実施し、さらに消費者の皆さまに安心を提供するため残留農薬自主検査に取り組んでいます。

貴会には、食品の安全のために必要な適正価格や日本の農林水産業の重要性を消費者にお伝えいただき、今後も消費者と生産者の架け橋の役割を發揮していただきますようご期待申し上げます。



高知県森林組合連合会  
代表理事会長  
戸田 文友

高知県生活協同組合連合会が創立50周年を迎え、半世紀という節目に記念誌を発行されるにあたり、謹んでお祝いを申し上げます。

昭和34年の創立以来、県内の生活協同組合のまとめ役として活動して来られましたことに対して心から敬意を表する次第です。

申すまでもなく、協同組合は協同と相互扶助を原則としており、人間尊重と社会的公正の実現という理想を持った組織です。貴連合会は、私たちが生活する上で欠かすことのできない食の安全の推進や環境を守る活動を行ったり、基金を活用した消費者支援の充実を行政に対し提案したりするなど、協同組合の原則に則った活動をされ、その功績は真に大きいものがあります。どうか今後とも貴連合会が、県内の生活協同組合のみならず、協同組合間の連帯を進め、安全で安心した暮らしができる平和な社会作りに貢献されますことを期待いたします。お祝いのご挨拶といたします。



(社)高知県労働者福祉協議会  
会 長 岡林 俊司

高知県生協連創立50周年誠におめでとうございます。半世紀に及ぶ、生協運動の担い手組織としての県連の果たしてきた役割に敬意を表しますとともに、50年の道程は決して平坦ではなかったと推察します。私も県庁生協の組合員歴42年になりますが、その間生協の役員も務めました。今日の職域生協の厳しい現実に複雑な思いです。

しかし、生協運動の原点である“より良いものをより安く”そして“安心・安全な商品”の提供という使命は、昨今の食品偽装事件を持ち出すまでもなく一層重要になっています。

高知県労福協としても生協連のめざす運動と共に、今日の「貧困・格差社会」での生活雇用不安に対してのライフサポート事業の実施や相談活動に積極的に取り組んでいます。(くらしの相談センター高知の設置0120-629-154)

結びになりますが、県生協連の一層の発展と県内の生協運動がさらに飛躍されることを願って挨拶といたします。

# 生協とは

## 生協とは

生活協同組合（生協）は、「消費生活協同組合法」（生協法）に基づいて設立される法人です。生協法では「この法律は、国民の自発的な生活協同組織の発達を図り、もって国民生活の安定と生活文化の向上を期することを目的とする」と定められています。生協は、力を合わせて生活をよりよいものにしていきたいと思う人が自発的に加入する組織です。ICA（国際協同組合連盟）が1995年に決定した協同組合原則に基づいて運営しています。

## 生協の目的と運営

生協は暮らしの協同のための組織ですので、運営や事業も一般的な会社とは異なっています。まず組織運営の面では、議決権です。生協では総会（総代会）で組合員の議決権が行使されますが、1株について1票の議決権が配分される株式会社とは異なり、出資金の額に関係なく、1人1票の議決権を持ちます。また、事業についての考え方も異なります。組合員は生協の事業を利用することで自分の生活をよりよいものにするために、生協に加入します。生協の事業は、暮らしのための協同そのものです。たとえば、ある組合員の「こういう商品がほしい」という思いを組合員同士で確かめ、それを実現するために購買生協の事業は行われます。したがって、事業から生まれる利益も、それそのものが目的ではなく、生まれた利益によって組合員の暮らしをよりよいものにしていくことが目的となります。

## さまざまな生協

高知県には、県から認可を受けている生活協同組合が14生協（2009年8月現在。連合会を除く）あり、そのうち高知県生協連に加入しているのは12生協です。

### 地域生協

土佐清水地区生協、  
こうち生協、コープ自然派こうち

その地域に暮らす消費者が組合員となり、共同購入や個人宅配、店舗、共済などの事業を中心に行っています。

### 職域生協

高知県庁消費生協、  
ミロク消費生協、  
セイレイ高知消費生協

同じ企業（職場）の職員が組合員となって作られています。事業所の中に売店や食堂などの施設を構えて事業を行っている場合と、組合員になっている職員の暮らしている地域で購買事業を行っている場合があります。

### 大学生協

高知大学生協、  
高知県立大学生協

大学の学生と教職員が組合員となって作られています。食堂や書籍をはじめ、旅行や賃貸住宅などの大学生の生活に必要なサービスも取り扱っています。

### 学校生協

高知県学校生協

公立の小学校・中学校・高等学校の教職員が組合員となって作られています。共同購入事業や他の業者との提携事業などを行っています。

### 医療生協

高知医療生協

医療や保健、福祉に関する事業や健診をはじめ健康づくり活動を進めています。

### 共済生協

高知県労働者共済生協（全労済）

火災共済、生命共済などの共済事業を専門的に行っています。

### 福祉生協

高知県高齢者福祉生協

介護や宅老所、配食サービスなどの福祉サービスの提供を専門的に行っています。

# 生協の歴史

## 世界の生協のはじまり

1844年12月21日の夕方、イギリスの工業都市マンチェスターの北東にある小さな町、ロッチデールのトードレーンの古ぼけたレンガ建ての倉庫の1階に、世界中の協同組合運動の基盤を築いたロッチデール公正開拓者組合の店が開店しました。28人の職人が1人1ポンドずつ積み立て、それを元手として彼らの店を開店したのです。



## 日本での生協のはじまりから戦後

日本で最初に生協が作られたのは、1879年（明治12年）です。その後、第一次大戦の好景気に伴う物価高騰の中で広がりました。賀川豊彦が神戸で消費組合を創立したのもこの頃です。

しかし、昭和に入って戦争の時代へと進むなかで、生活物資の統制や弾圧により、ほとんどの生協が営業停止に追い込まれてしまいました。このような歴史は「平和あってこそその生協運動」ということを示しており、生協が平和を守る活動に取り組む根拠となっています。

戦後、1948年に「消費生活協同組合法」が施行され、「国民生活の安定と生活文化の向上」のための国民の自発的組織として、各地に生協が再び設立され、活動を開始しました。1951年には生協の全国組織として日本生活協同組合連合会が設立されています。

## 高知県生協連のあゆみ

1960  
年代

1959年1月17日に学校生協、県庁生協、協和農機労働組合（現セイレイ生協）など5つの生協と15の労働組合で高知県生協連が設立され、物価メーデーなど物価値上げ反対の取り組みを推進してきました。高度経済成長を迎え、ミロク生協、医療生協、高知大生協、共済生協など多くの生協がこの時期に設立されました。一方で一部の会員生協の経営不振が問題化し、県連で対策の検討もされました。

思い出

元県連事務局長 前島武昭さん  
(1981～1995在任：学校生協)

県生協連の歩みを見てもわかるように、時の動きを敏感にとらえ、多彩な取り組みが行われてきました。その中で、各生協で活動をされている方々や、こうち生協設立の支援をして多くの組合員のみなさんや班の方々とお知り合いになれたことは本当にありがたく懐かしい思い出です。私がタッチしてできた班をもう一度訪ねてお顔を拝見したい思いますが、かなり高齢になり、実現は難しいです。残念！

1970  
年代

1970年代から有害食品問題や公害による環境問題などの関心の高まりの中で、全国各地に地域購買生協が設立され、共同購入が本格的に発展しました。この時期に、県立大生協、土佐清水地区生協が設立されました。県連では事務局体制を強化し、共同事業の継続強化を進め、生協のお酒「虹の宴」の展開が始まりました。しかし、徐々に事業活動後退による赤字が問題となってきました。また、高知県での消費者運動の活性化のために、地域生協強化の方針が打ち出され、強力な地域生協の必要性の論議が始まりました。

思い出

元県連会長 林田武久さん  
(1993～1997在任：県庁生協)

生協の酒「虹の宴」の普及拡大を目的に、会員生協の組合員や役職員の参加を得て、蔵元見学を行っていました。中土佐町久礼の歴史ある西岡酒造において、お酒のできるまでの過程を見学した帰りのバスの中では、晩酌用に買った「虹の宴」と、大正市場で仕入れた新鮮な魚と「くれ天」を持ち寄り、よく宴が催されたものです。日頃の生協運動の話等、交流は一段と深まりましたが、いささか酩酊し、空のビンを持ち帰ったことなど懐かしく思い出されます。

1980  
年代

利用結集、組織結集への足掛かりとして県連での第1回生協まつりを始めるなど、県連財政の健全化に向けての努力が継続されました。また、この時期は、一般消費税導入反対や物価上昇の阻止など様々な消費者問題に取り組んでいます。やがて県生協連、四国の大学生協、日本生協連関西地連等の支援で共同購入型地域生協設立に向けての準備が進み、その支援のもとでこうち生協が設立されました。

思い出

元県連専務 澤田 準さん

(1980~1983在任：県庁生協)

1981年、一般県民に向けて生協商品を紹介・宣伝することを目的として第1回生協まつりを中央公園で開催した。同年、四国地区生協協議会が発足し、その連帯の中で1983年に共同購入型無店舗生協設立に向けて取り組み、一定の事業実績を残した。1982年は地域生協の強化を重点課題として対策協議会を設立し、組織づくりに取り組んだものの、いろいろ難題も多く目的達成に至らなかったが、現在の地域生協の存在には何らかの礎となったのではないかと考えている。

1990  
年代

県連出資金増強とともに残った供給未収金処理を行い、県連財政の健全化が進みました。暮らしをめぐる問題が多様化し、製造物責任法、消費税、米の輸入自由化、容器包装リサイクル法など多くの課題に取り組みました。生協の活動が高知県全域に広がって幡多地区生協まつりが始まり、また、こだわりコープ(現コープ自然派こうち)や高齢者福祉生協が設立されました。女性のライフスタイルの変化が顕著になり、共同購入に参加できない組合員を対象に個別配送(個配)という新しい形が始まりました。また、県内外での大規模災害の教訓を生かして、高知県と県連の間で災害時物資協定を締結しました。

思い出

元県連会長 山崎隆夫さん

(1984在任：医療生協)

県連最初の「生協まつり」を思い出します。血圧測定が出店の皆さんにも大人気で千客万来。話も弾み、なかよしにもなれました。他県の医療生協との交流しかなかった私たちは身近に「生協のなかま」を知りました。病院開設に向けて、組合員増やし・班作りに全力をあげていた私たちは視野が広がり、知り合いになった生協さんに出かけ、医療生協への加入と班作りをお願いし、毎月「健康チェック班会」を開く職場班も生まれました。

思い出

元県連会長 竹村昭三さん

(1990~1992在任：学校生協)

1990年1月に湾岸戦争が勃発した。生協連は即時中止と日本政府の不協力を要求した。大気汚染から地球を守る運動や、欠陥商品110番活動にも取り組んだ。いま、イラク、アフガンへの戦争協力をめぐって、また温室効果ガスや食品偽装が大きな問題となっている。時は流れたが、生協連の社会的存在と役割がより重要となっている。“人との出会いは人間普遍の利益”、出会った人間群像から得た人生の糧に感謝している。

2000  
年代

経済のグローバル化や消費者の権利意識の高まりの中で、食品の安全や消費者行政の充実を求めて、行政に対する意見提出を積極的に行いました。一方で、コープ商品の中国製餃子から農薬が検出される事件が起き、改めて安全・安心の確保と信頼の回復のため取り組みをすすめました。

そして今、急速な高齢化と少子化、女性の社会進出、地域コミュニティの再構築、格差の拡大など、社会状況が大きく変化しています。2009年には消費者庁も発足しました。改正された生協法の下で、生協は、社会的役割・責任を果たし、組合員とともに地域社会のよりよい暮らしづくりを目指していきます。

思い出

前県連会長 村上朝満さん

(1999~2003在任：こうち生協)

共同購入型広域生協が高知に誕生するにあたっては、関西・中四国の生協、とりわけえひめ生協(当時)の全面的な協力をいただき、また学校生協からの有力な人材の献身的な努力もありました。設立後の拡大発展には私もびっくり・どきどき。生協には、こんなに人間性を感じさせるなにかがあるのだな!…安全・安心・安価!命の尊さへの関心!組合員数の拡大とともに「命」と「絆」の大切さを教えられる毎日。また、生協職員の働きぶり、なかでも水害復旧作業での献身的な働きは目に焼き付いています。様々な種類の生協が、県生協連のもとにますます発展することを心から祈っています。

# 高知県生協連の取り組み

## 県内生協の連帯

高知県生協連は県内生協の連絡・調整・指導の機能を担い、連帯の軸として活動しています。

福祉や防災のように会員間の共通課題について専門委員会で検討をすすめたり、生協まつりの開催、会員間の情報交流の促進などに取り組んでいます。



高知県生協まつり

## 役職員研修

生協活動を発展させることにより、地域の消費者のよりよい暮らしづくりに貢献するため、生協の役職員の力量を高めることを目指しています。消費者問題をめぐる情勢学習や政策課題、実務担当者を対象とした実務研修など、会員の意見を反映させながら実施しています。



役職員研修会

## 全国の生協との連帯

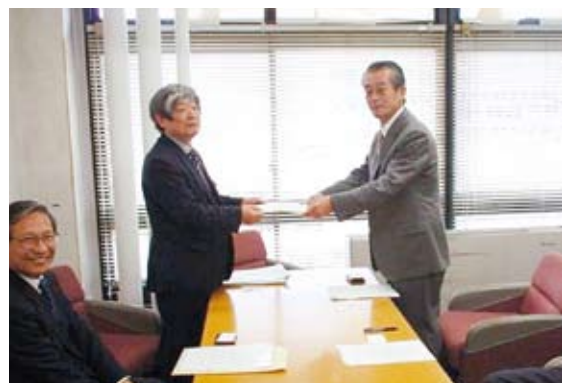
全国の生協とともに、平和や暮らしを守り、消費者の権利を広げる運動を進めています。南海地震のような大規模な災害が発生した場合を想定した広域支援体制の整備のために、中四国の生協で災害対応の準備についての検討も進めています。



南海地震対応図上演習

## コミュニケーション・渉外活動

県内における生協の社会的ポジション向上のため、行政や県内の協同組合との窓口としてコミュニケーションと働きかけを進めています。また、消費者の意見を反映させるため、行政の審議会等に積極的に参画しています。



地方消費者行政充実のための要望書の提出

## トピック

## 災害時物資協定と生協による被災者支援

1995年1月に発生した阪神淡路大震災で、被災者支援活動において地域の生協の貢献が大きく評価されました。全国の生協で、大規模災害が起きた時に迅速に被災者支援ができるようにするため、行政との協力体制についての検討が始まり、高知県生協連でもその準備を始めました。

高知県との間で検討をすすめていた頃、1998年9月24日に、高知豪雨水害による大きな被害が高知県内各地で発生しました。このとき、県内の生協が、日頃から組合員さんとの間に事業を通じたつながりがあることを生かして、被災地域への生活用品の配布、被災者宅を訪問しての状況聞き取りと行政への伝達、県外生協職員も含めた復興ボランティアの組織などを行い、地域の復旧に協力することができました。このような実績も踏まえて、1998年12月、高知県と高知県生協連の間で、「災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定」が締結されました。

2001年、高知西南豪雨災害が発生した時は、協定に基づいた協力要請が初めて実施されました。生協のトラックや職員が県西部の幡多地域の被災地に入り、現地のボランティアセンターや市町村の窓口と連携しながら、物資の運搬、ニーズの聞き取りなどの被災者の支援を行っていきました。

2007年度には、高知市とこうち生協のあいだでも災害時物資協定が締結されました。また、さまざまな事業者と行政との間でも災害時の協力協定の締結がすすんでいます。予想被害の調査や県を超えた広域での支援体制の研究も進んでおり、災害対応計画も変化してきました。このような状況にあわせて、生協の特徴を一層生かせる協定内容にしていくために、協定の見直しも進めています。



'98豪雨災害で被災地支援に入る生協職員



災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定の締結

### 「災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定書」の概要 (締結日：1998年12月17日)

- ・災害時に高知県が応急生活物資を必要とする場合、高知県生協連に要請し、会員生協から供給する。
- ・県から要請がある場合に、物資の運搬に協力する。
- ・生協連は高知県以外の生協と連帯して広域支援体制の整備に努める。
- ・県は被災者に支援物資の配布方法などの情報提供をし、生協連はそれに協力する。
- ・県と生協連の間で被災地の状況等の情報交換をする。
- ・生協連は災害時に生活物資の価格高騰を防ぎ、物資の安定供給に努める。
- ・生協連は生協組合員の行う被災者支援ボランティア活動を支援し、県はこれに協力する。



'01西南豪雨災害での活動に対する高知県からの感謝状

# 会員生協の取り組み

## 平和

平和を守るため核兵器廃絶署名や平和行進、平和の折鶴運動、平和講演会などが行われています。ユニセフ（国連児童基金）の活動にも募金やチャリティー絵画展などで協力しています。



ピースウォーク(写真提供:こうち生協)

## 環境

牛乳パックなどの回収・リサイクルをはじめとして、事業による環境負荷を低減する取組を進めています。森での体験学習や生物観察などを通じて自然の大切さを学ぶ活動も行われています。



森林体験学習  
(写真提供:  
コープ自然派こうち)

山桜の苗を植樹し、その後、ツリーハウスを造りたいな〜と夢を描きながら間伐をしました。組合員さんも「おいしい空気の中で楽しくできて来てよかった」との感想。子どもさん達もこのような体験は初めてのようで一生懸命に枝を切っていました。この活動を通じ自然と触れあえた一日でした。

## 食と健康

食の安全や健康に対する組合員の願いに応じて、独自の添加物基準などを設けた商品開発や、地場製品の普及活動などが行なわれています。地域生協では収穫体験や料理教室などを通じた食育活動、生産者と組合員の交流なども盛んです。医療生協や大学生協では、食生活指導やサポートも行っています。



キッズエコロジークッキング(写真提供:こうち生協)

小3〜中3の組合員のお子さんを対象に開催しました。野菜ソムリエの方を講師に招いて、環境への配慮も学びながら旬の食材を使ったイタリア風料理をつくりました。保護者の方から「とても楽しかったようで、何を作ったか、何を切ったかなど、子どもが色々と話してくれました。来年もまた参加したいと言っています」という感想がよせられました。



田んぼの生き物観察会  
(写真提供:コープ自然派こうち)

田んぼや水路の説明をしていただき、その後、各自で魚網や虫かごを持ち講師の指導で生きもの探しをしました。今回嬉しかったのは、高知県絶滅危惧種のトノサマガエルに何匹も会えたことです！生産者さん達が、大事に田んぼを守り、大事におコメを作ってくれていることが伝わってきました。

## 消費者問題

消費者被害や消費者行政の充実、社会保障制度の問題について組合員の啓発や学習が行われています。また、地域医療や介護に関する制度の改善を求める活動も行われています。



STOP! 医療・介護崩壊、社会保障費をふやして!  
12.13集会 (写真提供: 高知医療生協)

## 組合員の活動

組合員のグループにより、商品学習、食、健康、環境、平和、防災、スポーツ、趣味、ボランティア活動など、暮らしをより豊かにするための活動が行われています。大学生協では学生組織による新入生サポート活動なども行われています。



班会 (写真提供: 高知医療生協)

## 家計

家計の収支を主体的に管理できる消費者となることをめざして、家計簿をつける活動が行われています。さらに、保障や年金制度について学んだり、長期的な生活設計を考えていくライフプラン作りの活動が広がりつつあります。



ライフプラン講座 (写真提供: こうち生協)

組合員さんから募集したライフプランアドバイザーによる講座では、参加者からは「自分の勉強不足もあり、不安なことも多かったのですが、お話を聞いて具体的によくわかりました」という感想もよせられています。「セカンドライフに向けた生活設計」「教育資金」「保障の見直し」などをテーマに取り上げています。

## 地域団体との連携

行政やNPO、福祉団体など、地域で活動している諸団体と協力した取り組みが進んでいます。高知県・高知市の民生児童委員会との協定にもとづいた地域見守り活動や、福祉事業所の製品の店頭販売なども実現しています。



福祉事業所の製品の店頭販売 (写真提供: 高知県庁生協)

## 商品供給

各生協でそれぞれの組合員の生活に必要な商品を企画・供給しています。大きく分けて、店舗（地域・職場・学校・大学等）での供給と、配送（班（グループ）による共同購入・個人配送・ステーション配送等）での供給があります。また、食品・書籍などを中心に、インターネット注文での供給も広がってきました。



店舗での商品供給(写真提供:こうち生協)

## 共済・保険

生協の共済は「組合員同士の『もしも』のときの助け合い」という考え方から生まれました。共済事業を中心に活動している共済生協をはじめとして、コープ共済、学生共済など、各生協でそれぞれの組合員の生活スタイルに適した共済・保険が取り扱われています。



共済受付窓口(写真提供:全労済高知県本部)



個人配送の商品のお届け(写真提供:コープ自然派こうち)

## 食堂など

職域生協や大学生協では、食堂での食事提供や売店での弁当供給などにより、組合員の食生活をサポートしています。



大学生協食堂メニューとレシート

(写真提供:高知大学生協)

食堂のプライスカードとレシートには、料理の品名、価格のほか、塩分量、エネルギー量、3群点数法（栄養の働き別に赤・緑・黄の3つに色分けする）による栄養表示をして、バランスのとれた食生活の提案をしている。



## 医療

医療生協の病院や診療所では組合員の要求に応えた医療を目指して、診療・治療が行われています。また、生活習慣の見直しや、健診の受診運動、血圧・尿などの自己測定など、組合員が健康な生活を送るための活動も進められています。



病院での診療  
(写真提供:高知医療生協)



青空健康チェック  
(写真提供:高知医療生協)

## 福祉

複数の生協で、訪問介護、デイサービス、宅老所、高齢者への配食サービスなどの福祉事業が行われています。また、有償・無償のボランティアによる家事援助や子育て支援の活動も、地域の中でのつながり作りとしての価値が評価されてきています。



宅老所(写真提供:高知県高齢者福祉生協)



県連福祉委員会で作成した福祉マップ

## 提携・指定店

地域の事業者と提携して、組合員の暮らしを豊かにするための様々なサービスが提供されています。サービスの種類も物品販売、車検、住宅、チケット、葬祭など、多様になっています。



ユニセフチャリティー  
絵画展  
(写真提供:  
高知県学校生協)

# 各会員の紹介

## 土佐清水地区生活協同組合

地域  
生協



- 本部所在地／土佐清水市養老283-18
- 電話／0880 (82) 2839
- 代表者 理事長／浜田逸男
- 設立年月日／1975年6月29日
- 年間事業高／124,736千円
- 出資金／2,393千円
- 組合数／2,185人
- 職員数／3人
- 施設の概要／事務所 1

(2009年3月31日現在)

1975年に幡多郡全域を事業区域として設立されたが、現在は土佐清水市地域を対象に事業を行っている。生協の設立以来継続していた店舗事業を2007年に閉鎖し、同時に事務所を市街地郊外に移転して現在に至っている。1992年にこうち生協と共同購入事業の提携を行い、現在は共同購入事業が経営基盤となり、組合員に商品を提供している。

## こうち生活協同組合

地域  
生協



- 本部所在地／高知市薊野中町16-8
- 電話／088 (826) 5211
- 代表者 理事長／西岡雅行
- 設立年月日／1985年11月18日
- 年間事業高／10,320,716千円
- 出資金／3,572,749千円
- 組合員数／82,718人
- 職員数／559人
- 施設の概要／共同購入支所7 店舗2  
商品セットセンター1  
商品検査室(商品センター内)1  
本部

(2009年3月31日現在)

1985年11月に多くの方々の支援を受け、「健康と子どもたちの未来のために」をスローガンに掲げ、2,013人のお母さんたちによって設立された。共同購入事業(個人宅配を含む)を中心に、店舗、サービス事業、共済などを展開。2009年秋には、離れて暮らす御家族にコープ商品をお届けする「まごころ便」を開始する。現在8万人を超える組合員数となっており、消費者のくらしと地域にもっとも役立つことを目標として活動している。

## 生活協同組合コープ自然派こうち

地域  
生協



- 本部所在地／南国市篠原190-3
- 電話／088 (804) 6705
- 代表者 理事長／東條美紀
- 設立年月日／1995年6月11日
- 年間事業高／617,092千円
- 主資金／71,828千円
- 組合員数／4,570人
- 職員数／6人
- 施設の概要／事務所兼配センター 1

(2009年3月31日現在)

設立は1995年6月。設立10年を機に高知こだわりコープからコープ自然派こうちに名称を変更。関西四国8府県でコープ自然派事業連合を組んでいる。食の安全を求めるには国内の農業を守ることからと「国産派宣言」「自給率アップ」を掲げている。環境に負荷をかけない暮らしを目指し、合成洗剤、塩ビ製品は取り扱わず、遺伝子組み換えの食品や飼料の排除に努めている。森の力の再生のため、自然派の森を土佐町に作り、桜の植樹などにも取り組んでいる。

## 高知県庁消費生活協同組合

職域  
生協



- 本部所在地／高知丸の内1-2-20
- 電話／088 (823) 9050
- 代表者 理事長／片岡亘
- 設立年月日／1958年2月26日
- 年間事業高／583,252千円
- 出資金／94,856千円
- 組合数／8,185人
- 職員数／52人
- 施設の概要／県内12カ所に店舗・配送センター・事業所を置く  
(2009年5月31日現在)

前身は県職員労働組合の購買部として発足。1958年に生協として独立。高知県内全域の県行政機関、県立病院、県関連諸団体を区域とする職場職域生協。県庁舎をはじめ県全域の12カ所で店舗、事業所、配送センターを運営している。職場に働く仲間とその家族、退職組合員等の協同と助け合いを基本に、購買、指定店、特約店事業の他、保険、福祉サービスなど組合員の生活全般に役立つ幅広い事業展開を目指している。

## ミロク消費生活協同組合

職域  
生協



- 本部所在地／南国市篠原537-1
- 電話／088 (863) 3068
- 代表者 理事長／近藤久視
- 設立年月日／1960年5月31日
- 年間事業高／35,372千円
- 出資金／2,414千円
- 組合員数／245人
- 職員数／2人
- 施設の概要／店舗2  
(2009年8月13日現在)

(株)ミロク製作所と傍系会社の社員が組合員となっている。1960年に、当時高知市稲荷町にあった会社内で設立され、1972年に現在の南国市篠原に移転した。社員数の減少などにより事業環境は厳しいが、事業所内での店舗事業や委託業者による弁当給食事業により、社員の福利厚生に貢献している。会社周辺に食堂や売店がないこともあり、組合員のニーズにきちんと応えたサービスを提供していくように努力している。

## セイレイ高知消費生活協同組合

職域  
生協



- 本部所在地／南国市里改田203
- 電話／088 (865) 2213
- 代表者 理事長／横田博文
- 設立年月日／1965年／3月22日
- 年間事業高／83,000千円
- 出資金／1,427千円
- 組合員数／352人
- 職員数／6人
- 施設の概要／店舗2  
(2008年8月15日現在)

国道55号線(南国バイパス)南国交差点より、県道45号線を南へ2km、3~4分で右に「セイレイ工業」の看板、その前に「セイレイ生協」がある。従業員および系列会社への出向者が組合員となり、南国市と土佐山田町の工場で店舗を運営している。社員数の減少などにより、事業環境は厳しいが地域・組合員の方々に役立つ会話のある、魅力ある生協を目指して力を合わせて取り組んでいる。

## 高知大学生生活協同組合

大学生協



- 本部所在地／高知市曙町2-5-1
- 電話／088 (844) 1501
- 代表者 理事長／藤本富一
- 設立年月日／1966年9月26日
- 年間事業高／871,028千円
- 出資金／54,828千円
- 組合員数／5,635人
- 職員数／69人
- 施設の概要／ショップ2 書籍1  
食堂3 カフェ1  
(2009年2月28日現在)

設立は、1966年9月。約5,600名の学生・教職員が組合員。「充実した大学生生活を送れるよう」に、ショップ・書籍・食堂・サービス・学び・住まい斡旋の各事業を行っています。健康、安全、環境、平和などの分野で「知り・知らせ・考え・話し合い・行動する」取り組みも行っている。2009年6月に医学部食堂の運営開始、同年12月に食堂・ショップ・カフェの全面改装等「魅力ある生協づくり」を目指している。

## 高知県立大学生生活協同組合

大学生協



- 本部所在地／高知市永国寺町5-15
- 電話／088 (872) 9572
- 代表者 理事長／一色健司
- 設立年月日／1971年11月7日
- 年間事業高／122,129千円
- 出資金／11,650千円
- 組合員数／1,271人
- 職員数／16人
- 施設の概要／ショップ2 食堂2

設立は、1971年11月。約1,200名の女子大・短大の学生・教職員が組合員。永国寺キャンパスと池キャンパスの4店舗で学内の勉学研究生活、日常生活、食生活に必要な商品・サービスを提供しています。健康安全、環境、平和などの分野で「知り・知らせ・考え・話し合い・行動する」取り組みも行っている。2010年4月に向けて大学の改革が進む中「魅力ある生協、地域に貢献できる生協」を目指している。

## 高知県学校生活協同組合

学校生協



- 本部所在地／高知市薊野南町20-13
- 電話／088 (846) 4124
- 代表者 理事長／西山潤
- 設立年月日／1949年1月14日
- 年間事業高／803,159千円
- 出資金／266,922千円
- 組合員数／12,145人
- 職員数／11人
- 施設の概要／事務所兼配送センター1  
幡多支所1  
(2009年3月31日現在)

1949年1月設立。戦後の物不足のなか教職員の生活物資の確保と児童・生徒の教材等の供給活動を行う。81年に教材・教具を扱う学校用品(株)を分離独立させた。86年からこうち生協との事業提携により生鮮配送を開始した。2009年に創立60周年を迎え、教職員の福利厚生を担い「人間らしい豊かなくらし創造と平和をめざし協同の輪を大きくひろげよう」をスローガンに組合員の利用促進に取り組んでいる。

## 高知医療生活協同組合

医療  
生協



- 本部所在地／高知市口細山206-9
- 電話／088 (843) 0025
- 代表者 理事長／梶田典男
- 設立年月日／1966年8月12日
- 年間事業高／2,352,386千円
- 出資金／968,242千円
- 組合員数／52,019人
- 職員数／325人
- 施設の概要／病院1 (114床)、健診センター1、診療所5、居宅介護支援事業所2、デイサービス3、通所リハビリ1、認知症対応型通所介護1、ヘルパーステーション2、訪問看護ステーション1  
(2009年3月31日現在)

1966年8月に設立され、現在は組合員約5万2千人、38支部、557班を基礎に、組合員の健康づくりを進めている。高知市口細山に高知生協病院(救急病院)と健診センター、高知市内に3診療所(在宅支援診療所)、須崎市、四万十市に各1診療所、そして12介護事業所を開設し、24時間安心の医療、介護の「虹のネットワーク」づくりを進めている。また、生活困窮者のための「無料低額診療事業」を2009年10月1日から潮江診療所で開始した。

## 高知県労働者共済生活協同組合(全労済高知県本部)

共済  
生協



- 本部所在地／高知市本町4-1-32
- 電話／088 (823) 6031
- 代表者 理事長／廣本誠志
- 設立年月日／1961年4月1日
- 契約高／210億円
- 出資金／840,539千円
- 組合員／89,325人
- 職員数／31人

1958年の設立から、2008年には設立50周年の節目を迎えた。生活協同組合の原点を見つめ、「組合員が主役」である基本理念に立ち返り、協同組合の本来の姿、助け合いの組織の実現を目指し、幅広く県民・市民の皆様と生活観を共有し、「加入から給付・支払まで」親切丁寧な世話役活動の充実を目指す取り組みを実践している。今後も地域に密着した生活協同組合として、県民・市民の皆様から「選ばれる共済」「選ばれる保障」を目指し取り組んでいく。

## 高知県高齢者福祉生活協同組合

福祉  
生協



- 本部所在地／高知市河ノ瀬町30-1  
サンアースビル2F
- 電話／088 (832) 4960
- 代表者 理事長／岡田達明
- 設立年月日／1999年10月22日
- 年間事業高／111,476千円
- 出資金／5,925千円
- 組合数／1,376人
- 職員数／51人
- 施設の概要／配食サービス1 宅老所1 訪問介護2 デイサービス1 居宅介護支援1  
(2009年3月31日現在)

設立は1997年11月(法人認可は1999年10月)で「寝たきりにならない、しない! 元気な高齢者がもっと元気に!」をスローガンにして、高齢者が主人公になり、「仕事おこし」「福祉」「生きがい」の3つを事業、運動の柱にして活動を行っている。主な事業は、配食サービスや宅老所の運営、介護保険関係事業などを行っており、今後は子育てや農業、環境分野にも挑戦し、世代を超えた共生・協同の地域づくりを目指している。

# 高知県生協連の歴史

年度	高知県生協連の歴史	会員生協のあゆみ	国内外の動き	県内の出来事
1959 (S34)	<p>1. 創立</p> <p>創立総会 総会日時 1月17日 場所 高知市帯屋町労働会館 出席者 本人出席30人委任状27人計57人 議題 ・設立趣意書決定の件 ・定款決定の件 ・事業計画承認の件 ・取引金融機関決定の件 ・借入金最高限度額決定の件 ・役員選挙の件</p> <p>設立発起人 (加入組合) 国鉄労組・四国電力生協・県職生協・高知県学校生協・全通労組・土佐電鉄消費組合・高知交通生協・高知通運労組・四国日産労組・高知自由労組・野村産業・労組・協和農機労組・中小労連・南海電工労組・大王製紙労組・全食料労組・高知新聞労組・山長製材労組・県米労組・電気精鋼労組</p> <p>第1回通常総会 6月20日労働会館会議室 共同仕入の充実理髪部に続いて、時計靴等の修理部増設を決定日本生協連加入</p>	<p>1920.2 高知県購買生協(高知市民生協)設立</p> <p>1949.1 高知県学校生協設立</p> <p>1957.11 四国電力高知消費生協設立</p> <p>1958.2 高知県庁消費生協設立</p> <p>1958.2 高知県交通消費生協設立</p>	<p>国内外的動き</p>	<p>県内の出来事</p>
			<p>1月 日米新安全保障条約調印</p> <p>6月 安保反対闘争、岸内閣退陣</p> <p>11月 池田内閣[所得倍增計画]を決定</p>	<p>南国土佐ブーム 土佐・室戸・南国の3市発足</p>
1960 (S35)	<p>第2回通常総会</p>	<p>5月 ミロク消費生協設立</p>	<p>6月 農業基本法公布</p>	<p>チリ地震津波 土讃線にディーゼルカー 山田高校で警官隊が暴力行使</p>
1961 (S36)	<p>第3回通常総会 5月27日 四国電力高知支店会議室</p>	<p>4月 高知県労働者共済生協設立</p>	<p>3月 物品税法公布(4月1日施行)</p>	<p>第2室戸台風 教科書無償運動</p>
1962 (S37)	<p>第4回通常総会 5月26日 土佐電鉄会館SBホール</p>		<p>11月 ケネディ米大統領、ダラスで暗殺される</p>	<p>県庁落成</p>
1963 (S38)	<p>第5回通常総会 5月31日 福祉会館会議室 ・店舗の拡大と独立採算性の確立 ・出張販売の強化と経営健全化</p>	<p>▼第1回生協謝恩セール</p>		<p>台風9号 国鉄が土佐佐賀まで開通</p>
1964 (S39)	<p>臨時総会 1月20日高知県歯科医師会館 ・借入金最高限度額拡大承認について ・大型店舗開設について ・組織変更について</p> <p>第6回通常総会 5月29日高知県歯科医師会館 組合員加入の促進家庭班の結成独立採算の確立店舗の拡大陳列の整備・大型店舗の開設信販事業の拡大強化共同仕入の強化利用部の拡大財務確立の方針決定 ・新店舗開設のため、組合債募集を決定 ・会員労働組合と家庭会で、新しい生協を作り、直売店・巡回販売・指定店販売利用事業を運営することを決定(組織改組の決定) (→高知県消費生活協同組合を8月に設立)</p>	<p>8月 高知県消費生協設立</p> <p>9月 土佐電気鉄道消費生協設立</p>	<p>10月 第18回オリンピック東京大会開催</p>	<p>台風20号 寒風山、四ツ足峠のトンネル開通</p>
1965 (S40)	<p>第7回通常総会 5月29日教育会館会議室 ・第6回総会決定に基づき、県連の共同仕入に係わる資産および負債を県消費生協に譲渡する。</p>	<p>3月 協和農機(株)(現セイレイ高知)消費生協設立</p>	<p>2月 アメリカ、北ベトナムへの爆撃開始</p> <p>11月 閣議、戦後初の国債発行を決定</p>	<p>関越さん新彗星発見 高知重工業倒産</p>
1966 (S41)	<p>第8回通常総会 5月31日教育会館会議室 ・年度中、県生協、購買生協の不振が問題化。日生協も含めて対策を検討。 ・物価値上げ反対の取り組みを推進。物価メーデーの取り組み</p>	<p>8月 高知医療生協設立 9月 高知大学生協設立 ●船員生協加入</p>	<p>3月 日本の人口一億人を突破</p>	<p>南国産業科学大博覧会開催</p>
1967 (S42)	<p>第9回通常総会 5月26日教育会館会議室 ・組織改組2年目。共同仕入、共同幹旋事業が拡大。 ・不振生協対策は、見通しが立たず。対策強化</p>	<p>1月 高知新聞消費生協設立 8月 伊野生協設立 11月 高知県住宅生協設立 ●鈴江農機消費生協加入</p> <p>●船員生協脱会</p>	<p>4月 富山にイタイイタイ病発生</p> <p>8月 公害対策基本法公布</p>	
1968 (S43)	<p>第10回通常総会 5月24日高知電気ビル会館</p>		<p>*この年国民総生産(GNP)世界第2位となる</p>	<p>赤字バス路線の休止申請</p>
1969 (S44)	<p>第11回通常総会 5月26日林業会館 ・購買生協、消費生協の合併と県庁生協の地域化を結びつける。 ・購買生協、消費生協の再建の取り組みが県連の課題 ・日本生協連の県別地域政策の重点地域として高知県連が入る。</p>		<p>11月 1972年に沖縄返還で日米合意 *この年[いざなぎ景気]頂点</p>	<p>交通事故史上最悪記録更新</p>

高知県生協連  
同組合連合会  
設立趣意書

働く者の経済的・文化的生活の向上のために生活協同組合の発展が重要なものであることは多言を要しません。高知県においてすでに地域に地域に生協が組織されてまいりました。高知県において更に組織されている状況であり、また従来労働組合のい生協の促進のためにも生協連の強化発展のためにもまた新し立ちし従来私共はここに高知県生協同組合連合会を設け、労者の福祉に役立つ事業をそのまゝ引継ぎ、一層積極的に活動してまいりたいと願う次第であります。

昭和二十四年一月十七日



年 度	高知県生協連の歴史	会員生協のあゆみ	国内外の動き	県内の出来事
1970 (S45)	第12回通常総会 5月15日高知電気ビル810号 ・事務局体制の強化・共同事業、共同仕入の継続強化 ・県から研修委託費10万円、情宣活動費10万円、合計20万円の補助		3月 大阪万国博覧会開幕	台風10号高知を直撃 国鉄中村線開通 県内に公害問題相次ぐ
1971 (S46)	第13回通常総会 5月14日高知電気ビル810号 ・消費生協、購買生協の合併問題が論議される。 ・地域生協強化の方針がだされる。 ・理事定数10~17名から、15~25名に変更	11月 高知県立大学生協設立	8月 為替変動相場制へ移行	高知港にフェリー時代到来
1972 (S47)	第14回通常総会 5月23日労働会館別館 ・第1回高知県生協大会開催4/7/11/4 ・「虹の宴」西岡酒造で展開開始好評4/7/11	▼第2回生協連春季合同セール 	2月 第11回冬季オリンピック札幌大会開催 5月 沖縄施政権返還、沖縄県発足 7月 田中内閣発足、日本列島改造論 11月 狂乱物価、異常インフレ発生	繁藤大惨事発生 浦戸大橋開通
1973 (S48)	第15回通常総会 5月24日労働会館別館 ・高知県消費者団体連絡協議会結成4/8/11/21 ・県下消費者決起集会開催4/9/2/7 ・運営資金として、県より1000万円、高知市より300万円の融資が決定される。		*この年GNP戦後初のマイナス成長、企業の倒産続出、大型倒産も目立つ	早明浦ダム完成 県民体育館竣工
1974 (S49)	第16回通常総会 5月21日労働会館別館 ・事業が厳しく経営内容は更に悪化 ・高知購買生協対策で、県連所有の針木土地使用、店舗建設 ・第4回高知県消費者大会実施		4月 アメリカ、ベトナム戦争終結を宣言	国鉄予土線開通 台風16号・18号被害発生
1975 (S50)	第17回通常総会 5月16日労働会館別館 ・事業活動の後退により財務問題悪化赤字決算 ・長期に及ぶ供給未収金問題が顕在化 ・高知県の生協、消費者運動が低調なのは、強力な地域生協がないことが原因と総括される。	6月 土佐清水地区生協設立	7月 ロッキード事件、田中首相逮捕	台風5号被害
1976 (S51)	第18回通常総会 5月18日県庁組合会議室		10月 円高(ドル安)1ドル250円を割る	台風17号被害 県民文化ホール落成 国立高知医大開学 異常寒波
1977 (S52)	第19回通常総会 5月30日労働会館別館		8月 日中平和友好条約調印	
1978 (S53)	第20回通常総会 5月30日労働会館別館		1月 米中国交樹立 6月 第5回先進国首脳会議(東京サミット)	植樹祭 自衛隊機墜落事故
1979 (S54)	第21回通常総会 5月30日労働会館別館			ショッピングプラザコーナー開店 高知スモン訴訟和解
1980 (S55)	第22回通常総会 5月30日労働会館別館 県生協まつりを計画(第1回) ・一般消費税導入反対の取り組みを進める。 ・引き続き物価上昇を阻止する取り組み。 ・連帯課題のトップに、地域生協の整備拡充が上がる。 ・連帯活動強化の第3項「日常的基礎商品を中心とした幅広い商品を結集して県連段階での生協まつりを企画し、組織結集への足掛かりとします。」 ・県連予算440万円		9月 イラン・イラク戦争勃発 12月 自動車生産台数、世界第1位となる	冷夏で農作物などに被害
1981 (S56)	第23回通常総会 5月26日山内会館 ・第1回生協まつり(中央公園)10/31~11/1 ・四国地区生協協議会発足 ・地域生協の再建に向け、高知市民生協を支援する体制を作る。 ・県連予算415万円	●高知新聞消費生協脱会		窪川原発問題 鏡川大橋完成
1982 (S57)	第24回通常総会 5月25日山内会館 ・第2回生協まつり(中央公園)11/27~28 ・財政健全化に向けて、未収金の回収が必須条件であることが改めて確認される。 ・地域生協の強化拡充を最重要課題として、市民生協対策協議会の運営を中心にして進める事を確認。 ・県連予算475万円 ・市民生協対策委員会の解散四国協議会との連携を図って、地域生協強化を図る事を確認。	▼第2回生協まつり 		高知医大付属病院開院
1983 (S58)	第25回通常総会 5月31日山内会館 ・第3回生協まつり(中央公園)11/26~27 ・共同購入型無店舗生協設立に向けての取り組みが、大学生協、日本生協連、四国地区協議会、愛媛県連、愛媛生協、高知県連の支援で進行した。 ・県連所有土地清算?(市民生協へ) ・大型間接税導入反対の運動。 ・県連累積赤字125万円予算480万円	●鈴江電機消費生協脱会 ●高知県交通消費生協脱会	6月 比例代表制による初の参議院選挙 10月 ロッキード事件公判、田中元首相有罪判決	高知空港にジェット就航

年 度	高知県生協連の歴史	会員生協のあゆみ	国内外の動き	県内の出来事
1984 (S59)	第26回通常総会 6月1日山内会館 ・生協まつり休止 ・県連の支援で「こうち生協」設立 ・県連予算465万円		11月 一万円、五千円、千円の新札発行 *この年、日本男女共世界一の長寿国となる	くろしお博 四万十川ブーム
1985 (S60)	第27回通常総会 6月14日山内会館 ・生協まつり休止 ・消費税導入反対の取り組みを強める。 ・県連予算585万円	●高知県消費生協脱会  11月 こうち生協設立	3月 科学万国博[つくば85]開幕 5月 男女雇用機会均等法成立	
1986 (S61)	第28回通常総会 6月14日山内会館 ・第4回生協まつり(みどりの広場) 11/9		4月 ソ連・チェルノブイリ原子力発電所爆発	ハレー彗星観測 国民休暇県高知を宣言
1987 (S62)	第29回通常総会 6月20日山内会館 ・第5回生協まつり(みどりの広場) 11/8 ・県連財政改善の方向に進む。		4月 国鉄分割民営化[JRI]スタート 売上税、第108国会で廃案	高速時代幕開け JR四国スタート
1988 (S63)	第30回通常総会 6月25日山内会館 ・第6回生協まつり(みどりの広場) 11/6	●四国電力高知消費生協脱会	12月 消費税実施の税制改正法案可決成立	学芸高校の上海列車事故 瀬戸大橋開通
1989 (H元)	第31回通常総会 6月17日共済会館 ・第7回生協まつり(城西公園) 10/29 ・消費税廃止の取り組みを進める。 ・県連予算995万円		4月 消費税(3%)実施 11月 ベルリンの壁崩壊	ホエールウォッチングブーム
1990 (H2)	第32回通常総会 6月23日山内会館 ・第8回生協まつり(城西公園) 10/21 ・出資金の増強が進む。	●高知県住宅生協脱会	8月 東西ドイツ統一	自由民権記念館オープン 笹ヶ峰トンネル開通
1991 (H3)	第33回通常総会 6月29日山内会館 ・第9回生協まつり(城西公園) 10/27 ・県連財政の健全化に向けて、残った供給未収金の雑損処理を実施。	▼消費税反対署名	1月 湾岸戦争勃発、多国籍軍イラクを空爆 4月 牛肉・オレンジ・果汁輸入自由化実施 6月 1998年冬季五輪、長野開催決定	県人口自然減のいち動物公園、竜馬記念館オープン
1992 (H4)	第34回通常総会 6月20日山内会館 ・第10回生協まつり(城西公園) 10/25 ・酸性雨のPH測定活動実施		4月 学校週5日制スタート 10月 ICA(国際協同組合同盟)東京大会開催	高速道が瀬戸大橋と直結
1993 (H5)	第35回通常総会 6月12日山内会館 ・第11回生協まつり(城西公園) 10/17 ・製造物責任法の早期制定に向けての取り組みをすすめる。 ・事務局は半専従2名体制となる。		9月 農林相、冷害で非常事態宣言 この年米最終作況は[74]著しい不良	県立美術館オープン
1994 (H6)	第36回通常総会 6月25日山内会館 ・第12回生協まつり(城西公園) 10/30 ・消費税引き上げ反対署名に取り組む。 ・コメの輸入自由化反対の取り組みをすすめる(街頭署名・宣伝行動) ・平和の取り組みで継続して取り組んだ署名活動・被爆者援護法護法が制定された。 ・広報誌「高知の生協」発刊		6月 製造物責任法(PL)成立 11月 税制改革関連法案成立、9年4月から消費税5%に WHO協定など関連七法案が成立	残暑・濁水で異変 コメ不足で外国産米登場 早明浦ダムに米軍機墜落
1995 (H7)	第37回通常総会 6月23日高知城ホール ・第13回生協まつり(城西公園) 10/29 ・第1回幡多地区生協まつり2/25 ・ゴミ問題で県下市町村に「容器包装リサイクル法施行に伴うアンケート」を実施。 ・平和の取り組みで、「核兵器は国際法違反」との勧告を求める署名活動を実施。	6月 高知こだわりコープ(現 コープ自然派こうち)設立	1月 WTO(世界貿易機関)発足 阪神・淡路大震災発生	県が「官宮接待」全廃
1996 (H8)	第38回通常総会 6月27日山内会館 ・第14回生協まつり(城西公園) 10/27 ・第2回幡多地区生協まつり11/17 ・消費税引き上げ反対署名に取り組む。(街頭署名・宣伝行動も実施) ・地震災害等に対する国民的保障制度を求める署名活動に取り組む。		7月 大阪府堺市で病原性大腸菌O-157による食中毒発生 10月 小選挙区選挙実施	県と高知市が病院統合を決断
1997 (H9)	第39回通常総会 6月26日山内会館 ・第15回生協まつり(城西公園) 10/26 ・第3回幡多地区生協まつり11/23 ・「日本政府にCOP3削減減産書採択に向けてリーダーシップを求める緊急要請署名」の団体署名に取り組む。		4月 消費税5%に	高知工大開学 土佐くろしお鉄道宿毛線開通
1998 (H10)	第40回通常総会 6月25日山内会館 ・第16回生協まつり(城西公園) 10/26 ・第4回幡多地区生協まつり11/8 ・暮らしを守る署名活動に取り組む。 ・県と災害時支援物資供給協定を締結。	●伊野生協脱会	2月 長野冬季オリンピック開催 4月 日本版ビックバン始まる	98高知豪雨災害 高知市が中核市に 高知女子大、県立大池キャンパス完成
1999 (H11)	第41回通常総会 6月24日山内会館 ・しまなみ海道平和行進8/4 ・生協ふれあいフェア(県民体育館) 10/9 ・県生協連40周年記念式典・レセプション(三翠園) 10/21	10月 高知県高齢者福祉生協設立	*失業率5.0%を記録 9月 東海村臨界事故起こる	しまなみ開通、本四3橋時代

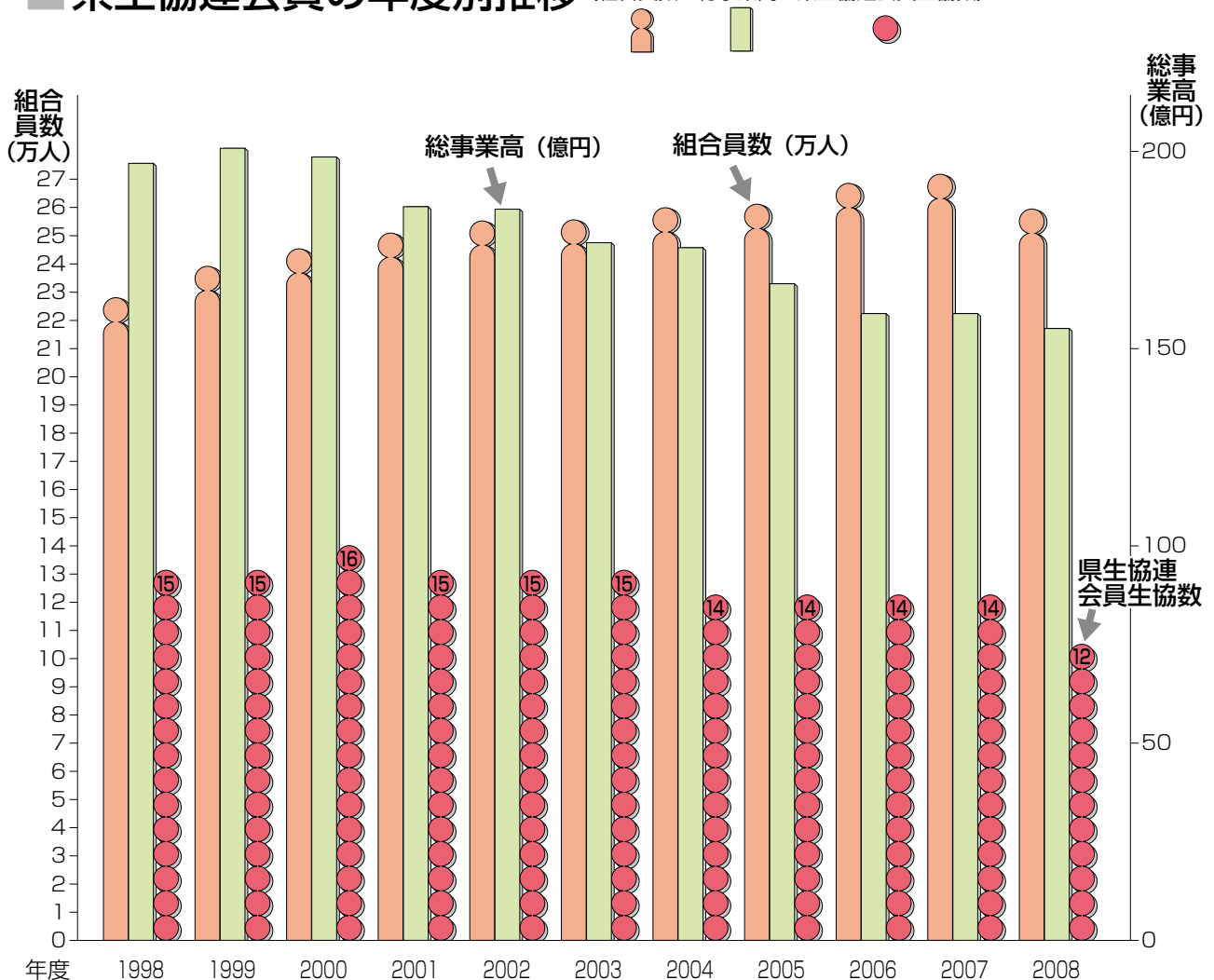
年 度	高知県生協連の歴史	会員生協のあゆみ	国内外の動き	県内の出来事
2000 (H12)	第42回通常総会 6月23日山内会館 ・第17回高知県生協まつり(城西公園)10/29 ・第5回幡多地区生協まつり(四万十川河川敷)11/5 ・高知県の食の安全行政の充実・強化を求める請願署名に取り組み ・四国市民平和行進7/8 ・災害時における緊急車両の事前届け出に関する申し合わせ事項を整備	●高知市民生協脱会	4月 介護保険スタート 6月 雪印集団食中毒発生	Xハイウェイ全通 規制緩和で大型店出店ラッシュ
2001 (H13)	第43回通常総会 6月22日 山内会館 ・第18回生協まつり(城西公園)10/28 ・第6回幡多地区生協まつり(四万十川河川敷)11/18 ・四国市民平和行進7/28 ・西南水害豪雨での救援活動に対し県から感謝状	▼食の安全要望を県に提出	4月 家電リサイクル法施行 9月 国内初の狂牛病確認 9月 アメリカで同時多発テロ	O1高知西南豪雨災害 高知城築城400年 西武キャンプ春野から撤退
2002 (H14)	第44回通常総会 6月21日 山内会館 ・第19回生協まつり(城西公園)11/3 ・第7回幡多地区生協まつり(トンボ公園)11/10 ・食品衛生法の改正・運用強化に関する請願活動に取り組み ・四国市民平和行進7/13 ・高知県総合防災訓練へ参加 ・イラクへの武力介入について米英へ抗議声明を送る		5月 サッカー日韓合同ワールドカップ開催	高知国体・よさこいピック開催 ごめん・なはり線開通 高知自動車道須崎まで開通 高知西武百貨閉店 かるぼーとオープン
2003 (H15)	第45回通常総会 6月20日 山内会館 ・第20回高知県生協まつり(城西公園)10/26 ・第9回幡多地区生協まつり(中村トンボ公園)12/7 ・高知県食品安全推進会議に公募委員として参加 ・高知県に「食品の安全行政の充実・強化を求める要望書」を提出 ・消費者保護基本法の抜本改正に関する要望書を県選出国会議員に提出 ・生協法制定55周年厚生労働大臣表彰を受ける		3月 米によるイラク攻撃 5月 食品安全基本法制定 7月 食品安全委員会設置 12月 イラクに自衛隊派遣	連敗馬「ハルウララ」全国人気 愛称「高知龍馬空港」誕生 フロ野球キャンプ撤退相次ぐ 高知大、高知医大が統合
2004 (H16)	第46回通常総会6月25日 高知城ホール ・高知県生協まつり雨天のため中止 ・生協の家事業の調印 ・「協同組合連絡協議会こうち」を結成 ・県連のあり方検討委員会の中間のまとめを作成	●土佐電気鉄道生協脱会	5月 消費者基本法制定 10月 新潟中越地震 12月 スマトラ地震	「シネマコンプレックス」オープン 平成の市町村合併始まる よさこい祭50年
2005 (H17)	第47回通常総会 6月24日共済会館 ・第22回高知県生協まつり(城西公園)10/23 ・消費者トラブル実態調査のため組合員アンケートを実施		4月 JR福知山線脱線事故	高知医療センター開院 大阪高知特急フェリー廃止 四国アイランドリーグスタート
2006 (H18)	第48回通常総会 6月23日高知会館 ・第23回高知県生協まつり(城西公園)10/22 ・高知県食の安全・安心推進計画策定にむけてのパブリックコメントを提出 ・高知県食品衛生監視指導計画への意見・要望を提出 ・「県連のあり方中間のまとめ」をベースに事務局体制と機関運営を強化		1月 ライブドア事件 10月 北朝鮮核実験実施	土佐24万石博開催 老舗高知スーパー閉店
2007 (H19)	第49回通常総会 6月29日高知会館 ・第24回高知県生協まつり(城西公園)10/28 ・食の安全・安心についての要望書を県に提出 ・高知県連防災マニュアル作成	1月 有志による「生協高知・平和憲法・九条を考える会」結成	3月 スマトラ島地震 8月 サプライム米国経済失速 10月 郵政民営化	東洋町核廃施設問題 高知空港で胴体着陸 建築業界で大型破たん
2008 (H20)	第50回通常総会 6月27日高知会館 ・第25回高知県生協まつり(城西公園)10/26 ・異常な原油価格高騰から暮らしをまもる施策を求める署名に取り組み ・中四国地連大規模災害図上演習を高知市で開催 ・地方消費者行政活性化基金等の活用に向けての要望と提案を県に提出 ・生協法制定60周年厚生労働大臣表彰を宮本県連会長が受けた		1月 中国製餃子事件発生 4月 改正生協法施行 4月 後期高齢者医療制度スタート ・ガソリン価格大変動 ・米国金融危機が世界に波及 11月 米国大統領選オバマ氏当選	高知県南海地震条例制定 県山岳連盟ヒマラヤ隊登頂成功 後期高齢者医療制度に批判 高知県産業振興計画スタート
2009 (H21)	第51回通常総会 6月26日高知商工会館 ・核兵器禁止条約の早期締結を求める署名活動に取り組み ・50周年記念事業(生協まつり、記念式典、記念誌、役員研修会)の実施		5月 新型インフルエンザ発生 9月 消費者庁スタート	

# 高知県の生活協同組合

## 組織事業の概況 (2009年3月31日現在の県生協連会員生協の2008年度実績)

	地域生協	職域生協	学校生協	大学生協	医療生協	共済生協	福祉生協	合計
高知県生協連 会員生協数	3	3	1	2	1	1	1	12
組合員数(人)	89,438	9,233	12,145	6,906	52,022	88,351	1,376	259,471
事業高 (百万円)	11,062	391	601	993	2,352	—	112	15,511

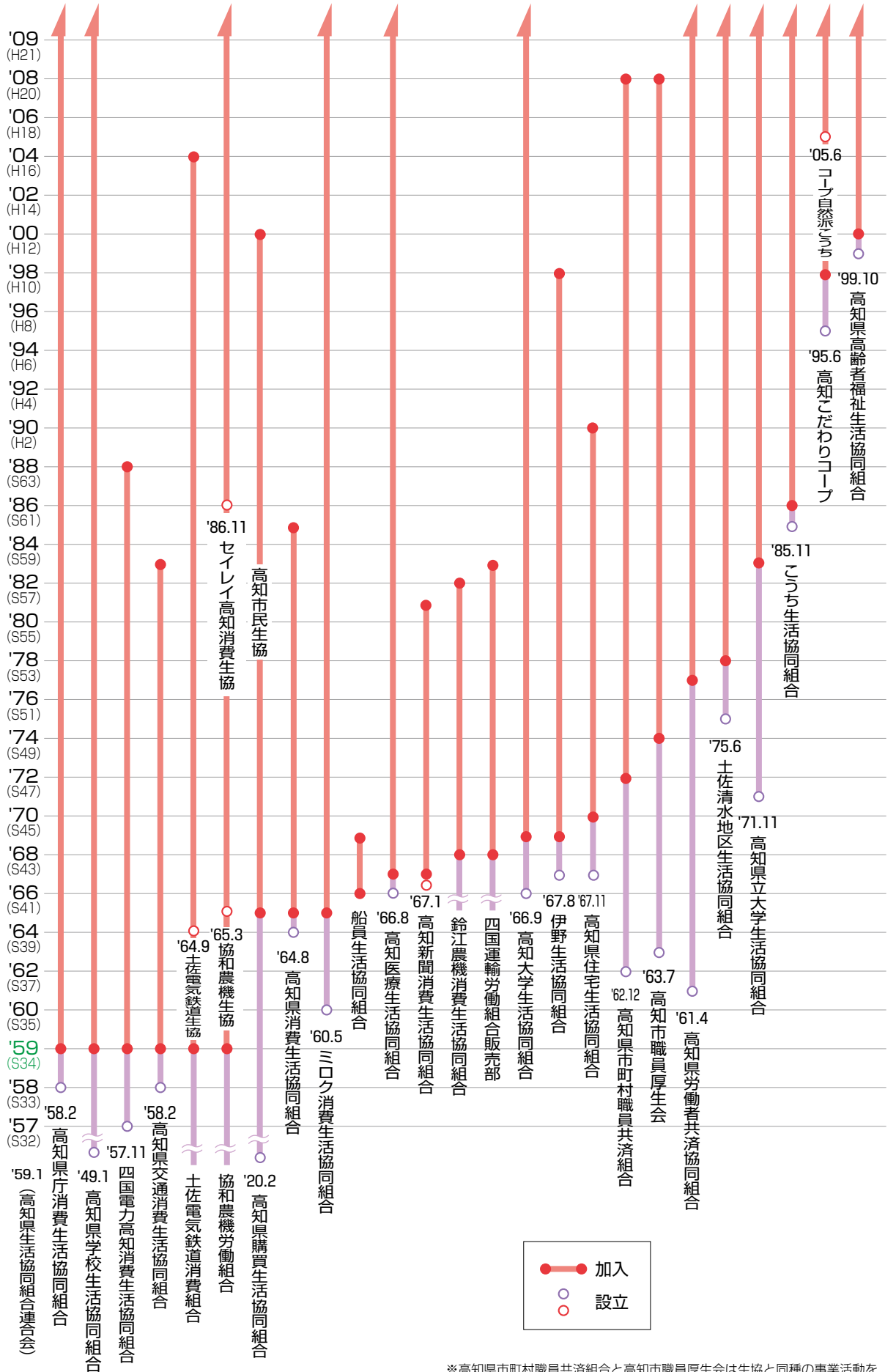
## 県生協連会員の年度別推移 (組合員数、総事業高、県生協連会員生協数)



県生協連合会会員生協の消長（1959年1月創立）

県連加入年

会名（設立時名称）（設立年月日）



※高知市町村職員共済組合と高知市職員厚生会は生協と同種の事業活動を行う法人として県連に加入していましたが2008年度末に脱会しました。



## 高知県生活協同組合連合会

〒781-0013

高知市薊野中町16-8

TEL088(846)3663 FAX088(846)3664

高知県生活協同組合連合会  
創立50周年記念誌

**高知の生協**  
～地域とともに協同の輪を～

発行 2009年11月13日

編集 高知県生活協同組合連合会  
50周年記念事業実行委員会

委員 井垣 政利 板谷 学 今城小堡子  
清岡 正博 畠中英佐子 浜田 逸男  
宮本 正気 村木 仁子 山本 啓  
山本 正博 吉岡 孝芳 (50音順)

事務局 林 須賀 藤平 美香

印刷 共和印刷(株)